

○ 本校の概要

- ◇児童数714名、21学級で、特別支援教室拠点校である。学区内には7町会あり、学校に対して非常に協力的で地域力が高い。
- ◇PTA活動、お父さんの会、同窓会活動が非常に盛んで児童の健全育成にすんで関わっている。令和元年度は開校80周年を迎え、さらに連携がすすんでいる。
- ◇学習場面では、一人一人が自らの考えをもって言語活動を通して交流する過程(はなちゃんタイム)を重視し、主体的に学びに向かう力の育成を図っている。
- ◇縦割り班を活用した児童集会・なかよし給食・なかよし遊び等の異学年交流を通して、集団や社会における人間関係形成力の向上を図っている。
- ◇「運動大好き馬三の子」を目指して、「馬三元気アップタイム」等を計画的に行い、体力向上に努めている。

○ 自己評価及び学校関係者評価の結果の概要と改善策

大項目	目標	取組内容	目標に対する成果指標	成果評価	これまでの取組 今後の改善策	学校関係者記入欄 コメント
プラン1 未来社会を創造的に 生きる子供を育成	コミュニケーション能力、情報活用能力、ともに生きる力等、これからの社会の変化にしっかりと対応する子どもの力と自信を身に付けます。	外国語教育指導員を効果的に活用し、外国の方々とのコミュニケーション能力の育成等を図っている。 学力の定着と学ぶ意欲の伸長を目指し、ICT機器を活用した授業を実施する。 体力テストの結果を踏まえ体力向上全体計画を作成し、計画に基づいた体育指導や「一校一取組」運動や「一学級一実践」運動を実施する。	4: 88%以上 3: 83%以上 88%未満 2: 78%以上 83%未満 1: 78%未満	4	○年間指導計画に基づき、外国語活動教育指導員と学級担任が連携し、外国語活動を進めることができた。 ○各教室だけでなく、専科教室のICT環境が整い、積極的ICT機器を授業で活用することができた。 ○児童向けに行うアンケート(714名中704名回答で回答率98.6%)で「勉強が好き」と回答した児童の割合は88.4%だった。昨年度の85.3%と比べて3.1ポイント上昇した。一昨年度の82.2%から2年連続して大幅に上昇し、成果指標の4段階をクリアすることができた。 ○プログラミング教育の充実を図るため、教員研修を行い、全学年の系統的な全体指導計画を作成して取り組む。 ○校舎改築工事を機に、「新しい学校を創る」意識を高め、主体的に取り組む力を伸ばす。	○子供から外国語で挨拶されるのを楽しみにしています。 ○「勉強が好き」が大幅上昇は取組の結果であると認めます。 ○昔の児童に比べて投力が落ちている気がします。更なる育成をお願いします。 ○子供たちには馴染みのあるICT機器での学習は「勉強」という名の垣根を超えやすいのかもしれないです。 ○子供たちの将来を見据えた外国語活動やプログラミング教育といった新たな教育の取組を積極的に進めている。同時に、従来からの教育への取組が基底にあることから「勉強が好き」と回答する児童が多いと推認され、大変評価できる。
プラン2 学力の向上	児童・生徒一人ひとりの学ぶ意欲を高め、確かな学力を定着させます。	学習カルテを基に児童・生徒と面談し、一人ひとりの学習のつまずきや学習方法について、指導する。 算数・数学到達度をステップ学習チェックシートで児童・生徒、保護者に知らせる。 学習指導講師等による算数・数学・英語の補習を実施する。 授業改善推進プランを、授業に生かす。 東京ベーシックドリル(算数)を活用し、基礎基本の定着を図る。	4: 46%以上 3: 40%以上 46%未満 2: 35%以上 40%未満 1: 35%未満	4	○学習カルテを基にした面談や日々の観察から一人一人の学習状況を把握する努力を続けている。また、学力向上部を中心に、全教員で授業改善を進めている。 ○保護者向けアンケート(714名中634名回答で回答率88.8%)における「学校は学習内容を身に付けさせている」の項目の回答でのA評価(4段階で最上位)の割合は47.2%であった。一昨年度の42.8%、昨年度の46.9%に続いて上昇し、成果指標の4段階をクリアすることができた。 ○今後も児童の学習意欲を高めるため、体験的な活動や話し合い活動(はなちゃんタイム)を効果的に取り入れていく。	○学力向上部中心の改善努力の結果であります。 ○馬三独自の「はなちゃんタイム」、主体的学習が成されていると感じます。 ○細やかな指導により、児童の学ぶ意欲を高め、基礎・基本的な知識の定着を図る取組を行っており、大変評価できる。
プラン3 豊かな心の育成	子ども一人ひとりの正義感や自己肯定感、自己有用感などを高めるとともに、 <b>自他の生命を尊重する心</b> を育成するなど、 <b>未来への希望に満ちた豊かな心</b> をはぐくみます。	小中一貫による教育の視点に立った生活指導の充実により、社会のルールや学校のきまりなどを守ろうとする意識を高める。 道徳教育推進教師を講師とした研修や、国、都及び区の資料を活用した授業等を行う等道徳指導充実のための取組を行う。 学校生活調査(メンタルヘルスチェック)の結果よりストレス症状のみられる児童・生徒に対して組織的に対応する。 学校いじめ防止基本方針に沿って、いじめの未然防止、早期発見等のための取組を実施する。 問題行動・不登校問題等にかかわる児童・生徒に関するケース会議等を実施する。 各教科や学級活動などで「はなちゃんタイム」(話し合い活動)を通して自他の考えを尊重し合う態度を育てる。	4: 97%以上 3: 90%以上 97%未満 2: 85%以上 90%未満 1: 85%未満	4	○「開校80周年をお祝いするために自分は何ができるか」を考え、実行する一連の活動をハッピープロジェクトと名付け、全校児童が1年間取り組んだ。児童会を中心に、各委員会で活動を工夫したり、80周年記念集会の学年ごとに出し物を工夫したりするなど、主体的な活動を実施し、チーム馬三の意識が高まった。 ○児童向けに行うアンケート(714名中704名回答で回答率98.6%)で「友達が好き」と回答した児童の割合は97.4%だった。昨年度と比べて0.3ポイント下がってしまったが、一昨年度の96.6%、昨年度の97.7%に引き続き、高い水準を維持でき、成果指標の4段階をクリアすることができた。 ○校舎改築工事を機に、本校の一員としてどう関わることができるかを考えさせるなど、自己有用感を高めていく。	○80周年事業での全校(児童・教員とも)一丸となった取組はすばらしいものでした。 ○開校80周年を迎える1年を、事前に入念な準備をして臨んでいた。教職員・地域関係者はもちろん、何より児童を真ん中に置いて、彼ら自身が主体的に取り組んでくれるような働きかけができたことが大変よかった。「ウマサス」に代表されるような活動は、児童のよき経験となり、自己有用感を醸成すると思われる。
プラン4 体力の向上と健康の増進	スポーツに親しむ心の育成や、運動習慣の定着による <b>体力の向上</b> など、 <b>生涯にわたって健康増進を図る意識の向上</b> をめざします。	「早寝・早起き・朝ごはん」月間の取組等を通して、児童・生徒や保護者に対し、望ましい生活習慣についての意識啓発を行う。 給食指導及び教科等における指導を通して、食生活の充実・改善をねらいとした「食育」を推進する。 体育的行事、部活動、休み時間など様々な機会を通して運動習慣の確立を推進する。 児童の健康・体力向上に向けての取り組みを組織的に挙げる。	4: 90%以上 3: 85%以上 90%未満 2: 80%以上 85%未満 1: 80%未満	4	○体力向上部を中心に、年間を通して「元気アップタイム」に持久走や縄跳びをするなど、全教員が計画的に取り組んだ。 ○「食育」は、栄養士やゲストティーチャーと連携し、全学年が発達段階に合わせて計画的に進めた。 ○児童向けに行うアンケート(714名中704名回答で回答率98.6%)で「運動が好き」と回答した児童の割合は92.8%だった。昨年度の90.4%と比べて2.4ポイント上昇した。一昨年度の91.6%と比べても1.2ポイント高く、成果指標の4段階をクリアすることができた。 ○体力テストの結果を基に、児童自身に運動の必要性を感じさせ、主体的に運動に取り組む工夫を続ける。	○「運動が好き」は大切なこと、続けてほしい。 ○早寝・早起き・朝ごはんが「だいたいあてはまる」が少し多いような気がしますので、「よくあてはまる」の数値を増やしてほしい。 ○中休みに校庭を元気に走り回って遊ぶ様子は、実に小学生らしい姿と見ています。 ○児童が運動が好きになるよう、年間を通して計画的な取組を行っていることを評価する。
プラン5 魅力ある教育環境づくり	児童・生徒が <b>安全・安心に学校生活を送るために、教員の指導力向上と良質な教育環境</b> をつくります。	授業公開日の授業評価を、その後の授業改善に生かす。 授業改善セミナー等の研修成果を生かし、主任教諭が助言・支援を行う校内研修等を実施しOJTを充実させる。 各種発表会等での研究・研修の成果を、自身の授業改善に生かす。 校内委員会等を確実に実施し、学校における特別支援教育を推進する。 ユニバーサルデザインの視点で教室環境を整える。	4: 90%以上 3: 85%以上 90%未満 2: 80%以上 85%未満 1: 80%未満	4	○積極的に研修会に参加したり、研修の成果を校内に伝達したりするなど、自身の授業改善を図っている。 ○特別支援教育についても校内研修会を設定し、児童一人一人のニーズに合った指導を心がけるようにした。 ○保護者向けに行うアンケート(714名中634名回答で回答率88.8%)における「学校は一人一人のことを考え、一生懸命指導している」の項目の回答での肯定的評価の割合は91.1%であった。昨年度の87.3%と比べて3.8ポイントの上昇である。一昨年度の87.9%と比べても3.2ポイント高い。90%を超えたので、成果指標の4段階をクリアすることができた。 ○校舎改築を機に、よりよい教育環境をつくるプロジェクトを立ち上げて取り組む。	○教育環境作りは終わりがないので、更なる努力をお願いいたします。 ○時代に合わせた教え方に対応していかなければならない御苦労をお察しいたします。働き方改革(残業・休日出勤削減)もお忘れなく。 ○児童が安全・安心に学校生活を送るために、かつ魅力ある環境を提供していくために学校は日々努力している。
プラン6 学校・家庭・地域も に進め、地域育が一体となつて	学校・家庭・地域が担う役割などを明確にし、 <b>地域に開かれた教育の実現</b> を目指します。また、 <b>相互の連携を深め、子どもを育てる仕組み</b> を作ります。	教育目標・学校経営方針・学校評価等の基本情報、児童・生徒の活動情報等をホームページ等で公開及び更新することにより、積極的に情報を発信する。 地域教育連絡協議会において、児童・生徒の変容等の具体的な資料を作成して、評価に必要な学校の情報を適切に提供し、適正な評価を受けるよう努める。 学校支援地域本部と連携するなどして、地域力を生かした特色ある教育活動を実践する。 家庭学習の習慣が身に付くように、家庭への啓発を行う。	4: 85%以上 3: 80%以上 85%未満 2: 75%以上 80%未満 1: 75%未満	4	○開校80周年関連行事を通して、家庭・地域との連帯感が大変高まった。 ○ホームページの更新に力を入れ、積極的に情報発信をした。 ○保護者向けに行うアンケート(714名中634名回答で回答率88.8%)における「自分は学校の教育活動に協力している」の項目の回答での肯定的評価の割合は86.4%であった。昨年度の82.6%と比べて3.8ポイント上昇した。一昨年度の80.9%から2年連続して上昇し、成果指標の4段階もクリアすることができた。 ○児童アンケートの結果からは、家庭学習時間が目安の「10分×学年」に達していない児童が多いため、家庭学習の習慣を身に付けるための工夫を進める。	○周年行事は、これまでに経験した全て(他校を含む)の中で、最も充実していました。学校の御努力に感謝いたします。 ○教育熱心な保護者が多いことはよい点に感じるが、「家庭学習」と「習い事」の切り分けが曖昧なのかもしれません。学校側で可能な工夫を更に期待いたします。 ○学校だよりやホームページ、また、各種のイベントの対応など、学校・家庭・地域が一体となって「チーム馬三」で教育活動と一緒に進めている姿勢が大変感じられる。

○「成果評価」は、各校が4段階で定めた成果指標によって行う。